



## 正解や結果をすぐに知れたがってはいないか？

「で、結局何？」とか「早く答え教えて」という言葉を聞くことがあります。テレビのクイズ番組を見ていても、解答者のやりとりは良いから早く答えが知りたいと思ったり、健康な食べ物を紹介する番組では「で、結局何が体に良いの？」と結論だけ知りたくなることがあります。ネットを使うと自分が知りたいと思っていることを、あまり考えなくても答えにたどり着けます（その答えが正しいかどうかはわかりませんが）。

学校の授業にも同じ傾向があるように感じます。たとえば、理科で空気の体積が変化する実験をした後で、なぜこの実験をしたのかを実験を通して考える、という課題をスッとばして「で、結局何を答えれば良いの？」あるいは「結局何を憶えておけば良いの？」という発想になっている場合があります。ほとんどすべての教科で同じことが言えるのではないのでしょうか。

記憶できる量はコンピュータに勝てません。だから今は記憶よりも答えにたどり着くまでの考える力こそ重要だと言われています。さらに、答えが必ずしも一つだけとは限らないのです。学力学習状況調査や、みえスタディチェックはたくさんの答えを記憶していなくても、問題を理解すれば解けるようにつくられています。逆に問題の解き方のパターンだけ憶えていても、問題が理解出来ないと解くことがむずかしいです。

これからの学校には考える力と考えたことを自分の言葉で表現できる力が求められています。学校の授業もそんな力がつくことをめざしています。

## 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果

6年生が4月18日に参加した『全国学力・学習状況調査』の結果から、今後、学校として伸ばしていきたい力、取り組んでいきたいことを整理しました。もちろんこの調査ではかれることは、子どもたちにつけたい学力の一部にすぎませんが、指導のための資料として、これからの学習・生活指導に生かしていきたいと考えています。また、桑名市の結果については、桑名市役所のホームページに掲載されていますのでご覧ください。

ホームページ「桑名市」〈子育て・教育・学校教育 教育総合 計画・統計等〉〈令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果〉

### ◆本年度本校の結果について

#### 【国語】

○よかったところ→主に基本的な知識

- 1 二（1）話し言葉と書き言葉の違いに気づくことができるかどうか。
- 2 二 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうか。

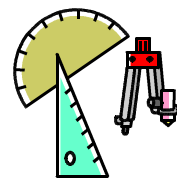
△課題のあるところ→主に思考・判断・表現

- 1 二（2）資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるよう表現を工夫することができるか。
- 3 二（1）登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えることができるかどうか。

#### 【算数】

○よかったところ→主に基本的な知識

- 4（2）速さが一定であることを基に道のりと時間の関係について考察できるかどうか。
- 5（2）簡単な二次元の表を読み取り必要なデータを取りだして、落ちや重なりがないように分類整理できるかどうか。



## △課題のあるところ→主に思考・判断・表現を評価する問題

- 2 (1) 計算に関して成り立つ性質を利用して計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうか。
- 3 (3) 球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことが出来るかどうか。

## ◆結果を受けての分析（伸ばしていきたい力）

### 【国語】

学力調査では問題文の中から、様々な要素を読み取って問題を解く力が必要です。しかし資料が多いと、問題に含まれる要素の関係を捉えきれなくなるようです。これは物語文を読み取る際にも同じことが言えます。文章が多くなればなるほど、情報の取捨選択がうまく出来なくなるようです。

単に知識を身につけるだけでなく、得られた知識や情報を使って自分の考えをまとめる力や、たくさんの情報の中から必要な情報を選び出す力が求められます。

### 【算数】

速さや割合を求める問題は正しく答えることができていました。また、基礎的な表やグラフを読み取ることもできていました。しかし、文章問題になり問題の設定が少し複雑になったり条件が追加されたりすると、問題の意図を読み取れず、立式することが出来なかったようです。

練習問題をたくさん解くなどして正しく計算することや、基礎的な理解はできるようになっています。しかし学力調査の問題のように「この条件の中でこの変化が起こったときにはどう考えればよいのか」というように、自分の頭で解き方を導き出すような力に課題があります。

## ◆今後の方針（取り組んでいきたいこと）

国語も算数も共通して基礎的な問題はとけるようになってきています。一方で文章を読み取ったり、問題の意図をくみ取る力に課題があります。たくさんの情報の中から必要な情報なのか、そうでないのか、大切な情報なのか、そうでないのかを判断できる力が必要です。たくさんの文章を読んだり生活経験をつむことで自然と要点をつかむ力が育まれる面もあります。

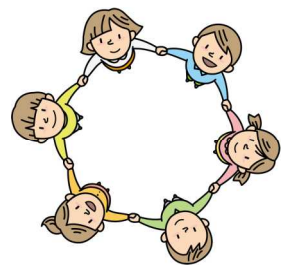
基礎基本は思考するためのベースとなるので大切です。一方で単純な問いに答えられるだけでなく、複雑で深まりのある思考が出来るようになっていきたいです。そのためにも読書は有効な手立てです。たくさん読書をすることで文を読み取り、筆者の意図を理解する力がつきます。また、成功や失敗の生活体験と授業内容をリンクさせることも大切だと考えます。そして、授業の中での疑問や気づきを大切に、児童がみずから学ぶ意欲を喚起していきたいです。

### 【児童質問紙】

児童質問紙については、ほとんどの項目で肯定的で良い回答が多く、素直に頑張っている子どもの姿と、学校で楽しく過ごせている姿を感じることができました。それは学校の授業や行事に毎日一生懸命取り組んでいる様子にも現れていると思います。また、タブレットの活用にも積極的に授業に役立つと回答しています。

一方で学校外の学習の時間や図書館の利用などに課題があります。学年が上がるにつれて、学校から指示された課題や宿題ではなく自分で勉強を計画したり、自分で読書に取り組めるようになる必要があります。やらされる勉強から自ら学ぶ学習に変えていきましょう。

今、学校で学んでいることはどの教科もとても重要です。自分の可能性を広げるために毎日の学習にしっかり取り組んでください。保護者はその子どもに教育を受けさせる義務があり、学校はすべての子どもが安心して教育を受けられるようにする責任があります。そして子どもには教育を受ける権利があります。子ども達が意欲を持って学習に取り組めるよう学校と保護者、地域が連携していきましょう。



## 【運動会当日の熱中症対策】

熱中症指数が31を超えた時点で運動会を中止します。残りの種目を火曜日以降に行うわけですが、この日に運動会を参観できない保護者もいるのではないかと心配します。特に6年生の保護者の方は小学校最後の運動会を参観したいと望んでおられるのではないのでしょうか。そこで運動会開会の時点では指数が31を超えていなくても、天気予報などを見ながらこのままいけば超えそうだと判断した場合、その時点で6年生の種目を先に行うよう用意しておいたプログラムに変更したいと思います。他学年の保護者の方には残念な事ですが、ご理解くださいますようお願いいたします。

11月の予定  						
月	火	水	木	金	土	日
28 修学旅行①	29 修学旅行②	30 6年生下校 13:10	10/31	1 長島中学校区 人権講演会 13:55下校	2	3 文化の日
4 3日(日)の 振替休日	5	6 集会	7 SC、am SHP	8 クラブ 1~3年14:00下校 4~6年15:30下校	9 わくわく 農園	10
11 なかよしクラブ	12	13 委員会 1~3年14:35下校 4~6年15:20下校	14 学校公開 人権講演会 ※学校運営協議会 SHP	15	16	17
18	19 SC、pm 4年防災学習	20 人権の花集会	21 教職員研修のため短縮4限給食 13:05 下校 SHP	22 4年生 社会見学	23	24
25 なかよしクラブ	26 SC、am SHP	27 月曜日課	28	29 特支交流会 AM	30	